



# 蛭小便り

蛭川小学校  
学校だより  
2023. 2. 22  
No. 14

## 成長を確かめ合い、自信をもって次のステップへ 校長 伊地知みゆき

令和4年度も残りひと月となりました。世の中全体では、コロナウイルス感染症が少しずつ収まってきた気配が感じられます。しかしながら、学校はまだまだ油断できません。インフルエンザもちらほら出ています。蛭川小においても、この大事なしめくくりの時期、学びを止めないようにと感染防止を最優先にしています。一方でマスク着用や黙食等による弊害も問題となってきています。気持ちの息苦しさを覚えている子どもたちもいるのではないのでしょうか。コロナによる体力低下も懸念しています。

そんな中、子どもたちの笑顔がひとときわ輝く、全校での活動や他学年との交流活動を、感染対策を取りながら何とか進めていこうと考えています。

特に6年生にとっては小学校最後の日々です。卒業式に向けての準備や6年間のまとめの活動を進めてくれています。毎日6年生の教室から卒業式の合唱練習の綺麗な歌声が聞こえてき、卒業が近いことを感じさせられます。

5年生は、6年生からのリーダー引継が着々と進められ、張り切って伝統を引き継ごうとしています。6年生に感謝の気持ちを伝えたいと「送る会」への願いやアイデアを出し合い、下級生に伝えて準備を進めています。

一人一人が学年のしめくくりに向かって、互いの成長を確かめ合いながら、願いをもってめあてに取り組むこの時期は、子どもたちが大きく成長する時期です。

最後の授業参観では、総合で調べてきたことや自分の頑張ったことを発表して、この1年を締めくくる活動を見ていただきました。どの子もおうちの方に見ていただくと言うことで張り切って準備していました。当日もたくさんの方が参観くださり、嬉しく満足した様子でした。

自信と希望をもって新しい学年へ、6年生は中学校へ、進めるよう最後の1カ月、大切に過ごしていきたいと思います。

## 蛭川勤彊未来塾(学校運営協議会&地域学校協働活動)元年

地域の方々子どもたちのためにと、これまでずっと関わってくださってきた活動を、これからも持続可能にするために、「蛭川勤彊未来塾」という組織が立ち上がった今年度。「勤彊未来塾元年」がまとめの時期に入りました。学期に1回小、中、保育園を会場にして子どもたちの様子を見ていただきながら、学校と地域の方が一緒になって子どもたちのよりよい成長を願うことを確認してきました。今年度、コロナ対応でできなかった活動もありましたが、それでも5年生の米作りに始まり、3年生の杵振り踊り、低学年の芋作り、6年生の蛭川の歴史学習と、地域を知り、自分の生き方に繋げるふるさと学習を充実させることができました。そして、運動会の前には、地域の方々校庭の草取りに集まってくださり、子どもたちも一緒に取り組むことができました。校庭も心の中もすっきりと爽やかに嬉しい時間となりました。

また今年度は市制70周年事業で、米作りや杵振り踊りなどの様子をドローンで撮影していただきました。保護者や地域の方にも機会を作って見ていただきたいと考えています。